

商業簿記

第 1 問 (20 点)

	仕		訳	
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				
4				
5				

第 134 回簿記検定試験 2 級解答用紙

商 業 簿 記

第2問 (20点)

(1)

銀行勘定調整表

平成〇年3月31日

当座預金勘定の残高					()
(加算)	[]	()			()
	[]	()			()
(減算)	[]	()			()
	[]	()			()
銀行残高証明書の残高					()

※ []には、資料Ⅱにおける番号①～④を記入しなさい。
 ()には、金額を記入しなさい。

(2) 資料Ⅱ

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額

資料Ⅲ

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額

※ 決算整理仕訳は、各行に1組ずつ記入しなさい。

(3)

現 金	当 座 預 金

第 134 回簿記検定試験 2 級解答用紙

工業簿記

第 4 問 (20 点)

製 造 原 価 報 告 書

(単位：円)

I	直接材料費				
	月初棚卸高	()		
	当月仕入高	()		
	合 計	()		
	月末棚卸高	()	()
II	直接労務費			()
III	製造間接費				
	間接材料費	()		
	間接労務費	()		
	電力料金	()		
	保険料	()		
	減価償却費	()		
	水道料金	()		
	合 計	()		
	製造間接費配賦差異	()	()
	当月製造費用			()
	月初仕掛品原価			()
	合 計			()
	月末仕掛品原価			()
	当月製品製造原価			()

損 益 計 算 書

(単位：円)

I	売上高				42,580,000
II	売上原価				
	月初製品有高	()		
	当月製品製造原価	()		
	合 計	()		
	月末製品有高	()		
	原価差異	()	()
	売上総利益			()

(以下略)

第 5 問 (20 点)

直接原価計算による損益計算書では、売上高から変動費を控除して (①) を計算し、さらに固定費を控除して営業利益を計算する。第 1 期の①は (②) 円、営業利益は (③) 円である。一方、全部原価計算によると、第 1 期の売上総利益は (④) 円、営業利益は直接原価計算と同じである。

第 2 期の営業利益は、直接原価計算によると (⑤) 円、全部原価計算によると (⑥) 円である。この営業利益の差は、全部原価計算において期末棚卸資産に含まれる (⑦) の分である。

仮に、第 2 期の製品生産量を 3,000 個とすると、期末製品在庫量は (⑧) 個に増える。このときの営業利益は、直接原価計算によると (⑨) 円、全部原価計算によると (⑩) 円になる。